

この4年間の市議会を振り返って

市議会は多様化する行政ニーズに対応し、多くの市民の声を市政に届けました。平成27年8月から令和元年7月までの4年間の活動を報告します。

議会は市民の代表機関

議会は市長の市政運営が適切に行われているかの審議を行い、条例制定などの重要事項を決定するとともに、市民の意思が市政に的確に反映されるよう市長に政策などを提案します。

市長はこの決定や提案を受け、市民に行政サービスを提供します。

審議した議案などはこの4年間で434件以上にのぼります。

審議した議案 332件
 請願の審議 23件
 陳情の審査 62件
 可決した意見書 17件
 審議した主な施策

- 民間活力を利用した保育所、集合住宅などを備えた複合施設を整備（銀座A・B地区）
- 刈谷駅北地区の市有地を活用し、活気にぎわいの創出を図るため、民間事業者が行う優良建築物等に対する補助



- 小垣江東小学校を増設し、肢体不自由に特化した特別支援学校を整備
- 老朽化した第一学校給食センターを小垣江東小学校の敷地内に移転新築し、給食に求められる安全な調理環境を維持
- 全小中学校の普通教室に空調設備を設置することにより、暑さ対策を強化し、児童生徒の安全を確保
- 市内外の人が刈谷の歴史や文化財について学ぶことのできる歴史博物館を整備
- 就学前の子どもに対する教育及び保育を一体的に行う体制を整備
- 小規模企業者の設備投資の促進と経営基盤強化のため、設備更新等の経費を補助
- 刈谷依佐美地区において、周辺の優良農地との共存を図りながら、新たな産業集積を促す一団の工業用地整備を推進
- 防犯灯及び街頭防犯カメラを設置することで、犯罪の発生を抑制し、まちの安全性の確保
- 消費生活上のトラブルについて、専門の消費生活相談員によるサポートが受けられる「消費生活センター」を開設
- 個人番号カードを利用し、コンビニで住民票などの証明書が取得できる環境を整備
- スマートフォン向けアプリ「あいかり」を開発し、市政情報や緊急情報などを効果的に提供

一般質問で市政を問う

議会では、一般質問を行い、市政全般についての考え方や方針について質問したり、事務の執行状況についての報告や説明を求めます。

これにより、市政運営を監視する役割を担っています。この4年間で延べ279回登壇し、631項目を質問しました。

質問された主な項目

- 消防団支援、トイレトレーラーの運用、交通安全対策、防災・減災対策、平和行政、地域ねご活動、認知症施策、障害者支援、刈谷駅周辺の路上喫煙の禁止、農業の現状、依佐美地区拡大市街地整備、銀座A・B地区の再開発、刈谷駅北地区の再開発、空き家対策、(仮称)刈谷スマートインターチェンジ、刈谷城の復元、子育て支援施策、女性活躍推進、子どもの貧困対策、教員の勤務負担軽減、放課後児童クラブ
- 一般質問の会議録は市役所、図書館のほか、パソコン、スマートフォンでもご覧になれます。

そのほかの取り組み

- ◆刈谷市議会かりやっこページ開設（平成29年3月）
 小中学校の勉強にも使えて、議会を楽しく学べるサイトを開設しました。動画やイラストで解りやすく議会について説明しています。クイズコーナーでは、学校で習う地方自治の仕組みなどに関するクイズを用意し、全問正解すると、議員の当選証書を模した賞状がダウンロードできます。

◆議場システム更新（令和元年5月）

従前システムに不具合が発生したため、議場システムを更新し、令和元年6月定例会から新システムによる運用を開始しました。主な変更点は、画質をアップロードからデジタルに変更し、既設モニターを大型化（98型モニター設置）、傍聴席にモニターを2台新設した点です。臨場感あふれる議会を傍聴ください。

◆議員研修会を実施

議員の資質向上のため各界から講師を招き、政治倫理や災害時の議会の役割についてなど研さんに努めました。

江藤俊昭氏（山梨学院大学法学部教授）
 市嶋洋平氏（株）日経BP社日経ビッグデータ編集長
 太田雅幸氏（弁護士）
 牧慎太郎氏（市町村職員中央研修所所長）

※肩書は研修時のものです。その他、市議会だよりを音声情報にした「声の議会だより」を市議会ホームページへ公開するなどの情報発信、災害発生時の議会の役割について示した刈谷市議会災害対応マニュアルの策定、議会運営の効率化や活性化に向けた議会のICT化について調査研究する研究会の設置などの取り組みがありました。

編集後記

かけはし

◆今年も本格的な夏の到来となりました。梅雨が明けてお盆も近づき、外出する機会が多くなると思われまふ。こんなとき、体の疲れは要注意。熱中症や夏バテなどにならないよう、水分補給や良質な睡眠で健康維持に努め、暑い夏を乗り切りたいものです。

◆刈谷市議会では、6月定例会から新しい議場システムを導入しました。画質をアップグレードからデジタル画質に変更し、ケーブルテレビやインターネットでご覧いただける議会映像が鮮明になりました。また、傍聴席にモニターを2台設置し、議員と理事者とのやりとりや議員が質問の際に使用する資料などの議場の様子をご覧いただけます。その他にも議場に設置されているモニターを大型化し、よりわかりやすい議会へと変わりました。今後も、開かれた議会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。ぜひ、傍聴にお越しください。お待ちしております。

◆刈谷市議会は任期満了に伴い、市議会議員選挙が6月30日に行われました。今号8ページに新しい議員28人が掲載されています。私たち議員は市民の代弁者として、市民の皆様へ信頼される存在にならなければなりません。刈谷市のさらなる発展のため、議員一同全力で邁進してまいります。

（議会広報委員会）

鈴木 綱男 議員 近隣市町との合併の報告を

市民の皆様のご理解を得ながら慎重に行わなければならない

3年前前、現東浦町長と市長の間で、次期東浦町長選のリーフレット等の選挙公約に刈谷市との合併あるいは近隣市との合併について記載するという、水面下での約束があったはずである。

話をさせていただいたことは事実である。

東浦町長とは、合併に向けて、同じ目的を持って進めるという話になっている。東浦町だけでなく近隣市町との合併について、市長は水面下での努力をされてきた。その市政を次の市長にも継承していかなければならない。今後、新しい市長に交代しても、間違いなく、両市町が合併に向けた働きかけを行っていくのか。

合併は大変難しい事柄である。

山内 智彦 議員
社会環境変化に地域社会運営の仕組みが追従できないのでは

世間キヤップはいつの時代にも存在するが、今や社会環境変化のスピードが速すぎる。地域社会の仕組みが近い将来に破綻するのではと危惧している。地域が目指す姿をどう考えるか。

地域組織に対して求められる役割が多様化する一方で、住民同士の関係の希薄化、自治会加入率の低下、役員の高齢化、担手不足等の課題があることも事実である。しかしそのような中でも、人と人とのつながりの中で、住民一人一人の暮らしや地域を共につくっていく社会が目指すべき姿だと考えている。



地域のことをみんなで一緒に考える住民会議

（主な答弁者：市民活動部長）
 今後また地域力の向上を支援していくことが必要と考える

（主な答弁者：市民活動部長）
 社会環境変化に地域社会運営の仕組みが追従できないのでは

（主な答弁者：市民活動部長）
 社会環境変化に地域社会運営の仕組みが追従できないのでは



平成23年3月30日に行われた定住自立圏形成協定調印式

ある。合併を実現するまでには、様々な手続きを踏まなければならない。市民、町民や議会の理解を得ながら進めていくことになる。慎重にならざるを得ない。東浦町とのトップ同士では、合意ができていないと理解している。

（主な答弁者：建設部長）
 2-485号線について環境変化に対応した確実な見直しを

銀座4丁目から城町図書館へ向かう市道2-485号線の道路工事について現状は、幅員10メートルで片側歩道の2車線道路とするもので、今年度排水工事等、来年度以降に電線類の地中化を行う予定である。

計画から既に16年が経過している。地域の状況はかなり変化してきているが、工事計画の見直しを行う考えは、現在の一方通行から相互通行へ変更する計画としていた

とともに、様々な主体が、相互に協力・連携しやすい環境整備を行うことにより、住民同士の

星野 雅春 議員
租税条約の住民税免除措置は受益と負担の原則に反しないか

租税条約とはどのようなものか。また、住民税が免除される対象者と適用人数は何人か。資金の流動に伴い生じる所得に對する租税の防止を主目的として国家間で締結される国際条約のことである。個人住民税が免除となる場合とならない場合があり、免除となる場合も、対象者は国ごとに異なるが、留学生や技能実習生が多くいる。その対象とされている。免除措置の適用を受けるには、市に対して租税条約に関する住民税の届出書を提出する必要がある。平成30年度課税において個人住民税の免除措置を適用している人数は167人である。

（主な答弁者：建設部長）
 2-485号線について環境変化に対応した確実な見直しを

銀座4丁目から城町図書館へ向かう市道2-485号線の道路工事について現状は、幅員10メートルで片側歩道の2車線道路とするもので、今年度排水工事等、来年度以降に電線類の地中化を行う予定である。

（主な答弁者：建設部長）
 2-485号線について環境変化に対応した確実な見直しを

（主な答弁者：建設部長）
 2-485号線について環境変化に対応した確実な見直しを



租税条約により人的交流の促進を

つながりが強く、地域の課題を自主的な活動で解決できる地域組織となるよう、支援する。

（主な答弁者：総務部長）
 租税条約の住民税免除措置は受益と負担の原則に反しないか

人は国民健康保険税の非課税対象となるのか。

（主な答弁者：建設部長）
 2-485号線について環境変化に対応した確実な見直しを

（主な答弁者：建設部長）
 2-485号線について環境変化に対応した確実な見直しを

開かれた議会へ

- 市議会ホームページで情報を配信
 会議の日程、一般質問の一覧、議員名簿などが掲載されています。また、会議録の検索や一般質問の様子を映像で見ることができます。
- ケーブルテレビKATCHで一般質問を録画放送
- 臨時保育室「カンガルールーム」を開設
 傍聴の際、事前に託児希望があれば臨時保育室を設置し、お子さんをお預かりします。子育て中でも安心して傍聴することができます。
- 傍聴しやすい環境の整備
 議場に大型モニター（98型）を設置、傍聴席にモニターを2台新設しました。

安心して傍聴ください！
市役所8階にあるカンガルールーム

迫力ある議会を傍聴ください！
傍聴席に新設されたモニター

公職選挙法で市議会議員は寄附や暑中見舞いを出すことが禁止されています。

禁止されている寄附の主なものは左記のとおりです。

本人が出席しない場合の結婚祝	本人が出席しない場合の葬式の香典	葬式等の花輪、供花
病気見舞	入学祝 卒業祝	お中元 お歳暮
お祭りへの寄附や差入	町内会の集会や旅行などへの寄附や差入	